

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	神戸常盤大学
設置者名	学校法人 玉田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門 科目	合計			
保健科学部	医療検査学科	夜・通信	6	2	27	35	13		
	看護学科	夜・通信			49	57	13		
教育学部	こども教育学科	夜・通信				33	39	13	
		夜・通信							
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神戸常盤大学
設置者名	学校法人 玉田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人理事長	H28. 6. 27 ~ R2. 6. 26	事業計画の策定、予算執行状況の確認等、学園運営全般に係るチェック
非常勤	財団法人顧問	R1. 5. 29 ~ R5. 5. 28	事業計画の策定、予算執行状況の確認等、学園運営全般に係るチェック
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸常盤大学
設置者名	学校法人 玉田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画(シラバス)の作成は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法(講義、演習、実習) ・ 授業の内容(授業科目の概要) ・ 年間の授業の計画(授業の回数等) ・ 授業時間外の学修(事前・事後の学修) ・ 到達目標 ・ ルーブリック評価(評価項目と評価基準) ・ 評価方法と評価項目との関係 ・ 評価の実施方法と注意点 ・ 履修に必要な知識・技能・態度など ・ 教科書・参考書 <p>成績評価の方法や基準については、神戸常盤大学学則(第33条第1項、第34条第1項)により規定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「成績評価の方法」は、試験(筆記・レポート・実技試験等)による。 ・ 「成績評価の基準」は、S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(不可)をもって表わし、C(可)以上を合格とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「神戸常盤大学シラバス作成手引き」に則り、作成する。 ・ 学部毎に実施する「履修登録ガイダンス」(毎年3月下旬より)に合わせて公表する。 	
授業計画書の公表方法	http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/05.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業計画（シラバス）で学生にあらかじめ示した成績評価・基準のとおり、各授業科目において学修成果の評価を行っている。

この評価に基づき、神戸常盤大学学則 第5章「教育課程」及び神戸常盤大学履修規程に則り、厳格かつ適正に単位授与、又は履修認定を行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学年における学生個人の評価については、GPAの値を学生に示すとともに、学習計画の指導や進路指導などにも活用し、学力水準の向上に努めている。

神戸常盤大学GPA制度取扱規程により、以下のとおり適切に実施している。

成績評価に応じ、次に掲げるGPを付加する。

評価区分	評定記号	付加するGP
100点～90点	S (秀)	4
89点～80点	A (優)	3
79点～70点	B (良)	2
69点～60点	C (可)	1
59点～0点	D (不可)	0

〈GPAの算出方法〉

((評価を受けた科目のGP× その科目の単位数) の合計) ÷ 総履修登録単位数

※なお、放棄科目および受験資格なし科目については、GPA算出対象から除くものとする。

〈GPAの通知〉

学生への通知は、本学のポータルシステムにおいて行っている。また、保護者への通知は、成績通知書にGPAを表示することにより行っている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/r1-gpa.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学は、全学ディプロマ・ポリシー及び各学科で定めたディプロマ・ポリシーに掲げる資質並びに能力を身につけ、神戸常盤大学学則第35条に規定する卒業要件（124単位以上を修得）を満たした学生に対し教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位を授与している。（詳細は以下のとおりである。）

[ディプロマ・ポリシー]

【全学】

本学は、ときわ教育目標に向けて行われる正課の教育において、次の条件をすべて満たす者に対し、学位を授与する。

- ① 学部・学科に所定の期間在籍すること
- ② 「ときわコンピテンシー」に掲げるすべての能力が、知性と感性を備えた専門職業人に相応しいレベルに到達すること
- ③ 学部・学科が定める審査に合格し、卒業に必要な単位を取得すること

【保健科学部医療検査学科】

- ・医療人にふさわしい倫理観、対人関係形成能力を身につける。
- ・医療検査に必要な基礎知識および基本的な専門知識を修得する。
- ・医療検査の実践に必要な基本的技術を習得する。
- ・医療の発展に寄与できる問題解決能力、自己研鑽力を身につける。

<卒業の要件>

本学に4年以上在学し、124単位以上（必修103単位、選択21単位以上）を修得した者に卒業が認定され学士の学位が授与される。

【保健科学部看護学科】

- ・“いのち”に対する温かいまなざしと、高い倫理観を身につける。
- ・看護の対象の基本的人権を擁護し、“苦痛や苦悩”を受け止め、共感的に理解するヒューマンケアの視点を身につける。
- ・科学的思考力を基盤に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行う基本的技術を修得する。
- ・患者・家族や保健・医療・福祉チームと良好なコミュニケーションをとり、連携を深めるための基本的態度を身につける。
- ・医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力を身につける。

<卒業の要件>

本学に4年以上在学し、124単位以上（必修102単位、選択22単位以上）を修得した者に卒業が認定され学士の学位が授与される。

【教育学部こども教育学科】

- ・こどもの保育・教育に携わる者に必要な豊かな人間性と高い倫理観
- ・こどもの心身の発達を支えるための専門知識と技能
- ・理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力
- ・実践の場において自ら課題を見だし研究することにより、保育や教育の質を高める態度

<卒業の要件>

本学に4年以上在学し、124単位以上（必修101単位、選択23単位以上）を修得した者に卒業が認定され学士の学位が授与される。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/06.html
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	神戸常盤大学
設置者名	学校法人 玉田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/taisyaaku_30.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/syuusi30_02.pdf
財産目録	http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/zaisanmokuoku30.pdf
事業報告書	http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/houkoku30.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/kanjikansa30.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/post_1.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/news/topics/26_1.html

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保健科学部、教育学部
教育研究上の目的（公表方法：インターネット 保健科学部： http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/section/medical_technology/ 教育学部： http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/section/education/ ）
（概要） <u>ときわ教育目標</u> 本学は、建学の精神の下、知性と感性を備えた優れた専門職業人の育成を目標としている。この目標に向けて、全学および各学部・学科は入学、教学、卒業（学位）、評価、支援に関する方針（ポリシー）を定め、以下のように組織的かつ計画的に教育を行う。 ①学生一人ひとりの個性、能力、希望等に応じて十分かつ適切な教育を正課・準正課・正課外を通して行い、「ときわコンピテンシー」に掲げる諸能力の修得を図る ②前項の教育に加えて、学生一人ひとりが目指す社会的・職業的自己実現に向けて十分かつ適切な支援を行い、学びの進展を図る ※「ときわコンピテンシー」は、知識、思考力、創造力、市民性の 4 つの力から構成される。
<u>保健科学部</u> ・医療専門職として、“いのち”に対する知性と感性を育み、心豊かな人間性、高い倫理観を身につける ・トータルヒューマンケアの視点を身につける ・進展する技術の成果を理解し、駆使するための基礎能力を身につける ・チーム医療における専門職としての責務を自覚する ・地域社会、国際社会において保健医療の向上に貢献できる基礎能力を身につける
<u>教育学部</u> ・豊かな人間性と教育にかかわる高い専門性を備えた、社会に貢献できる人材を育成する
卒業の認定に関する方針 公表方法： http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/06.html
（概要） 本学は、全学ディプロマ・ポリシー及び各学科で定めたディプロマ・ポリシーに掲げる資質並びに能力を身につけ、神戸常盤大学学則第 3 5 条に規定する卒業要件（1 2 4 単位以上を修得）を満たした学生に対し教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学位を授与している。 [ディプロマ・ポリシー] 【全学】 本学は、ときわ教育目標に向けて行われる正課の教育において、次の条件をすべて満たす者に対し、学位を授与する。 ①学部・学科に所定の期間在籍すること ②「ときわコンピテンシー」に掲げるすべての能力が、知性と感性を備えた専門職業人に相応しいレベルに到達すること ③学部・学科が定める審査に合格し、卒業に必要な単位を取得すること 【保健科学部医療検査学科】

- ・医療人にふさわしい倫理観、対人関係形成能力を身につける。
- ・医療検査に必要な基礎知識および基本的な専門知識を修得する。
- ・医療検査の実践に必要な基本的技術を習得する。
- ・医療の発展に寄与できる問題解決能力、自己研鑽力を身につける。

<卒業の要件>

本学に4年以上在学し、124単位以上（必修103単位、選択21単位以上）を修得した者に卒業が認定され学士の学位が授与される。

【保健科学部看護学科】

- ・“いのち”に対する温かいまなざしと、高い倫理観を身につける。
- ・看護の対象の基本的人権を擁護し、“苦痛や苦悩”を受け止め、共感的に理解するヒューマンケアの視点を身につける。
- ・科学的思考力を基盤に、健康レベルに応じた的確な判断力の基礎と、安全に看護実践を行う基本的技術を修得する。
- ・患者・家族や保健・医療・福祉チームと良好なコミュニケーションをとり、連携を深めるための基本的態度を身につける。
- ・医療に対する国際感覚を持ち、看護の本質を追究し、展望するための自己研鑽能力を身につける。

<卒業の要件>

本学に4年以上在学し、124単位以上（必修102単位、選択22単位以上）を修得した者に卒業が認定され学士の学位が授与される。

【教育学部こども教育学科】

- ・こどもの保育・教育に携わる者に必要な豊かな人間性と高い倫理観
- ・こどもの心身の発達を支えるための専門知識と技能
- ・理論と実践を統合し、社会の要請に応えることのできる教育力
- ・実践の場において自ら課題を見だし研究することにより、保育や教育の質を高める態度

<卒業の要件>

本学に4年以上在学し、124単位以上（必修101単位、選択23単位以上）を修得した者に卒業が認定され学士の学位が授与される。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：インターネット

<http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/10.html>)

（概要）

[カリキュラム・ポリシー]

【全学】

本学は、ときわ教育目標に向けて、「基盤教育分野」「専門教育分野」を設置し、その教育課程を次の方針に沿って体系的に編成する。

1. 「ときわコンピテンシー」に掲げる諸能力の修得を促すため、科目の内容等に即した最適の学修形態を整える
2. 「基盤教育分野」に、「学びの始め科目群」「人間探究科目群」「創造実践科目群」を置く
3. 「専門教育分野」は、学部・学科が定めるカリキュラム・ポリシーに従って編成する
4. 学修の成果をアセスメント・ポリシーにより不断に検証し、教育課程の改善を図る

【保健科学部 医療検査学科】

学科の教育目標に掲げる優れた医療人を養成するため、臨床検査技師養成の指定大学として、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成した。

教育課程を「基盤教育分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3つに区分し、各分野の

連携により体系的な学習が可能となるように配置した。

1. 「基盤教育分野」は「学びの始め科目群」「人間探究科目群」「創造実践科目群」の3群に区分した。

「学びの始め科目群」には学び方の基礎を修得し主体的な学びを促す科目、「人間探究科目群」には幅広い教養を身につけ、豊かな人間性と高い倫理観を育む科目、「創造実践科目群」には自らの手で新しい価値を創造し、他者との関わりの中で生きる力を修得する科目を配置した。

2. 「専門基礎分野」は、多様な専門科目を学修する上で必要とされる知識・技術に関する基礎的な科目を配置した。
3. 「専門分野」には、臨床検査の専門的な知識・技術を習得する科目、および医療の高度化に対応できる基礎力・応用力を身につける科目を配置し、「形態検査学系」「生物化学分析検査学系」「病因・生体防御検査学系」「生理機能検査学系」「臨床病態学・検査管理学系」および「総合・発展医療検査系」の6領域に区分した。各領域は講義と実習または演習で構成し、検査の知識と技術・実践を有機的につなげて理解できるようにした。さらに、「総合・発展医療検査系」では他の領域で得た知識を統合して発展させる科目、医療の場での実践的能力を養う科目や、研究的態度を養うための科目を配置し、保健医療に貢献し臨床検査の発展に寄与できる臨床検査技師の育成が可能となる編成とした。

【保健科学部 看護学科】

“いのち”に対する豊かな感性と知性、及び幅広い人間性を備えた資質の高い看護専門職業人を育成するために、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成した。

1. 「基礎分野、専門基礎分野、専門分野」科目の教育内容が有機的に、学修できるよう考慮し科目群を編成した。特に教養分野では、自らの「立ち位置」を確認し、看護専門職としての今後の展望に繋がる柔軟な視点を養うことを意図し、「リテラシー、人間といのち、人間と環境」に区分した科目群を設置している。また専門基礎分野では、看護学の専門性を支援する科目として、既に体系づけられている近接学問領域の知識や理論を「人間 科学系、保健科学系、社会科学系」に区分して、科目群を編成した。
2. 施設内から在宅・地域への“継続的な看護”、及び看護の対象のQOL(生活の質)を高める“総合的な看護”を目指して、その実践力を的確に養うために、看護学を「基礎看護学、健康支援看護学、療養支援看護学、母子支援看護学」の4領域に整理区分した。さらにそれぞれの学修内容を、臨地実習において深化し統合できる様、3年次後期を中心に各臨地実習科目を編成した。
3. 看護学の科目群の設置・編成においては、“実践の科学”である看護学の特性を生かし、「看護学の基本⇒看護学の展開⇒看護学の臨床⇒看護学の発展と探求」と、系統的な区分編成をし、過程性、系統性を考慮した。

この編成においては、「臨床力(臨地に身を置き、多様な現実を読み取り、考え行動する力)」を高めることを重視し、「看護学の臨床」の内容充実を力を注いでいる。特に、1年次初期の早期学修(アーリーエクスポージャープログラム)の導入により看護への興味・関心を広げ、4年次の課題別総合実習において、将来への展望を拓くことを意図した。加えて臨地実習施設との人事交流等を考慮した編成を行っている。
4. 学生の資質を調和よく発展させ、かつ身につけた知識や技術を統合し、創造的に課題解決していく姿勢を整うために、4年間の学修の効果的な統合として卒業年次の研究等の科目を編成している。加えて4年間の科目群編成において、教員と学生の対話や、ディスカッションを深める等の双方向の教育の実践、さらにはチューターによる4年間を縦断した個別的支援等、効果的な教授・学習過程であることを念頭に、科目間の関連を考慮して編成した。

【教育学部】

豊かな人間性と理論に裏付けされた実践的な教育力をもち、新しい時代や社会に対応できる質の高い保育士・教員を養成する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ：<http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/04.html>、大学案内、入試要項）

（概要）

[アドミッション・ポリシー]

【全学】

本学は、建学の精神の下、知的、道徳的に優れた医療・教育の専門職業人を育成している。

この目標をもつ本学は、「建学の精神」「ときわ教育目標」および学部・学科が定めるアドミッション・ポリシーを理解し、あらゆる人の「いのち」を医療や教育を通して支えていく意欲をもつ人を求める。

【保健科学部】

- 専門領域を学修するための基礎力と意欲をもっている人
- 人間に対する関心と愛情をもっている人
- 他者を理解し協働して行動できる人

（医療検査学科）

- 臨床検査あるいは保健医療の分野で社会に貢献したいと考えている人
- 人に対する興味をもち、思いやりをもって接することができる人
- 知的好奇心が旺盛で、物事を科学的な視点で捉えようとする人
- 保健医療の分野を学ぶために必要な基礎学力を備えた、学習意欲のある人

高等学校等の学習を通して数学、理科、英語について基本事項を正確に理解していること、および高校生活を通して日本語力とコミュニケーション能力を鍛えておくことが望まれます。

（看護学科）

- 人と自然を愛し、“いのち”を尊重し、育むところをもっている人
- 相手の言葉や投げかけに関心を寄せ、誠実に対話し、対応することができる人
- 問題を発見し、解決する意欲を持ち、行動することができる人
- 広く世界に目を向け、異文化に関心を寄せる人

高等学校等において、国語、数学、英語および理科の基礎学力を身につけ、それらの学習を通して、読解力、表現力、論理的思考力、問題解決力、および感性等をバランスよく身につけている人を求めます。さらに全教科の学習や教科外活動を通して、他者への配慮や社会的現象に興味関心を寄せ、“いのち”に対する温かいまなざしと高い倫理観に繋がる姿勢をもつことが望まれます。

【教育学部】

（こども教育学科）

- 保育士・教員になることを目指している人
- 基礎学力のある人
- 課題を発見し、探究する意欲のある人
- 自分も他者とともに尊重しようとする人

高等学校等においては、特定の教科に偏らず、すべての教科の基礎的な学習を通して、読解力、表現力、論理的思考力、問題解決力の基礎を修得していることを求めます。また保育士・教員は、人間性豊かであることが必要なため、課外活動にも力を注ぐ意欲を有していることが望まれます。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/02.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					人
保健科学部	—	25人	10人	11人	11人	0人	57人
教育学部	—	8人	5人	5人	0人	1人	19人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0人	195人	195人

各教員の有する学位及び業績
(教員データベース等)

公表方法：<http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/03.html>

c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

1. 大学が開設された2008年度、同時にFDが制度化され、委員会活動を開始した。平成29年のSDの義務化に伴い、SD委員会の中に位置づけ、教職員協働での委員会活動や研修会を催している。
2. 目的を教職員の能力開発と広義にとらえ、職員も参加した活動を継続している。
3. 研修の柱を①中央教育審議会など教育行政動向の理解②学内のセンター・カリキュラム等の役割の共有③教育技法・教育支援能力の向上④教育評価方法の確立の4点で系統的に企画している。
4. 教育力の向上、教育支援能力の向上のために必要な技能や評価及び学生参画型の教育について学ぶための研修会を企画している。
5. 各学科の状況に即した教育技法の開発を図るために学科内FDを促進し、全学で共有している。
6. 教員相互の教育技法を学び合う機会として公開授業の促進をしており参加件数も増えている。
7. 参加率を上げる工夫により8割以上の参加率を維持している。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健科学部	155人	162人	104.5%	630人	697人	110.6%	5人	1人
教育学部	80人	94人	117.5%	320人	332人	103.8%	0人	0人
合計	235人	256人	108.9%	950人	1029人	108.3%	5人	1人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健科学部	171人 (100%)	3人 (1.8%)	161人 (94.2%)	7人 (4.1%)
教育学部	83人 (100%)	3人 (3.6%)	76人 (91.6%)	4人 (4.8%)
合計	254人 (100%)	6人 (2.4%)	237人 (93.3%)	11人 (4.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 兵庫県病院局、神鋼記念病院、三田市民病院、北播磨総合医療センター、神戸市民病院機構、(社)みかり会、(社)兵庫県社会福祉事業団、など				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
保健科学部	179人 (100%)	165人 (92.2%)	9人 (5.0%)	4人 (2.2%)	1人 (0.6%)
教育学部	84人 (100%)	80人 (95.2%)	0人 (0%)	4人 (4.8%)	0人 (0%)
合計	263人 (100%)	245人 (93.2%)	10人 (3.8%)	8人 (3.0%)	0人 (0%)
(備考) その他1人：休学による					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】より該当箇所を再掲</p> <p>授業計画（シラバス）の作成は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法（講義、演習、実習） ・ 授業の内容（授業科目の概要） ・ 年間の授業の計画（授業の回数等） ・ 授業時間外の学修（事前・事後の学修） ・ 到達目標 ・ ルーブリック評価（評価項目と評価基準） ・ 評価方法と評価項目との関係 ・ 評価の実施方法と注意点 ・ 履修に必要な知識・技能・態度など ・ 教科書・参考書 <p>成績評価の方法や基準については、神戸常盤大学学則（第33条第1項、第34条第1項）により規定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「成績評価の方法」は、試験（筆記・レポート・実技試験等）による。 ・ 「成績評価の基準」は、S（秀）、A（優）、B（良）、C（可）、D（不可）をもって表わし、C（可）以上を合格とする。 ・ 「神戸常盤大学シラバス作成手引き」に則り、作成する。 ・ 学部毎に実施する「履修登録ガイダンス」（毎年3月下旬より）に合わせて公表する。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】より該当箇所を再掲</p> <p>授業計画（シラバス）で学生にあらかじめ示した成績評価・基準のとおり、各授業科目において学修成果の評価を行っている。</p> <p>この評価に基づき、神戸常盤大学学則 第5章「教育課程」及び神戸常盤大学履修規程に則り、厳格かつ適正に単位授与、又は履修認定を行っている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健科学部	医療検査学科	124単位	有・無	49単位
	看護学科	124単位	有・無	49単位
教育学部	こども教育学科	124単位	有・無	49単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/campuslife/campusmap.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
保健科学部	医療検査学科	900,000円	300,000円	600,000円	実験実習費、教育充実費
	看護学科	1,000,000円	300,000円	600,000円	実験実習費、教育充実費
教育学部	こども教育学科	800,000円	250,000円	300,000円	実験実習費、教育充実費
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>教職員で構成された学生委員会を設置し、学生生活の充実を図るための支援を行っている。</p> <p>学生委員会が中心となって、入学直後の新入生を対象に学生実態調査を実施している。この調査では、学生の生活実態を調査するとともに学生の抱えている不安や要望を聞き、調査内容をもとに各学科の教員が新入生全員と面談を行い、学習面、生活面でのサポートをしている。上記の学生実態調査と教員面談に加え、クラス担任制度を設けて、学生からの相談に対応できる体制を整えている。</p> <p>また、大学独自の給付型修学支援奨学金制度を設け、経済的理由で修学が困難な学生への支援を行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>就職委員会を設置して学生の進路指導を行っている。就職委員会では、就職ガイダンス等を通じて、学生が就職活動等に必要な知識や能力が獲得できるよう支援している。</p> <p>また、学生が自発的、意欲的に進路決定ができるように現場で活躍する先輩たちを「キャリアサポーター」と称して招き、就職活動での体験談や、社会人としての生の声などを聞く機会を設けている。</p> <p>キャリア支援室では、キャリアコンサルタントを配置し、就職・進学に関する迷い、就職活動の進め方、履歴書・エントリーシートの記入方法など、さまざまな相談に対応している。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>修学する上で特に気をつけなければならない疾病や健康上の留意点(持病、禁止薬、アレルギー対応など)がないか等の健康調査を入学前に実施している。本人の希望によっては面談も行い、必要に応じて関係部署と対応を協議し、協働して支援をしている。</p> <p>健康保健センター(健康管理室、学生相談室)を設置し、健康管理室では、上記の入学前健康調査の他に、定期健康診断や健康診断後の事後指導、応急処置、健康相談等の身体の健康に関する支援を行っている。また、入学時に全学生に対して特定の感染症に対する抗体価検査を義務付け、大学生活や臨地実習先で感染伝播を防ぐことを目的として、学生にワクチンの接種を指導している。</p> <p>学生相談室では、学内にカウンセリングルームを設置し、非常勤カウンセラーによるカウ</p>

ンセリングを週2日行っている。授業時間割の関係等でカウンセリングルームを利用しにくい学生が気軽に相談できる場として、学生相談サロンを設置し、本学教員が学生相談室委員として学生の心の健康支援に携わっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/guide/data/>
<http://kit.kobe-tokiwa.ac.jp/>